

第2学年 音楽科学習指導案

日 時 平成27年10月23日(金) 6校時
児 童 2年1組 男16名 女15名 計31名
指導者 葛西 浩美

1 個人課題

主体的に音や音楽を聴き取って、そのよさや特質を感じ取り、
自分なりの思いや意図をもって音楽表現の工夫をする児童の育成
～コミュニケーションを軸とした音楽活動のあり方の模索～

2 題材名 ひょうしをかんじてリズムをうとう
教材名 「おまつりの音楽」

3 題材について

本題材は、次の指導事項から設定されている。

・A表現

- (2) 器楽 ア「範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏すること」
ウ「身近な楽器に親しみ、音色に気を付けて簡単なリズムや旋律を演奏すること」

(3) 音楽づくり

イ「音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること」

・共通事項 ア (ア)「リズム」「拍の流れ」、(イ)「反復」

イ 「4分音符」「4分休符」「8分音符」「8分休符」

本題材では、2拍に限定されたいろいろなリズムと、それぞれに合う太鼓の口唱歌の言葉をカードに示し、リズムパターンの組み合わせを考える。これまで学んできた音符や休符を組み合わせることによって、自分のオリジナルのリズムをつくったり、友だちのリズムと組み合わせるオリジナルの「おまつりの音楽」をつくったりする活動を通して、リズムを組み合わせる面白さや音楽の仕組みに気付くとともに、音楽をつくる面白さや楽しさを味わわせたい。

4 児童について

児童は、朝の会や音楽の時間など進んで歌を歌ったり、楽器の演奏を聴いたりしながら、音楽に親しんでいる児童が多く、音楽が始まると、音楽を体全体で感じ取り、自分の思いを声や体の動きで表出する児童が多い。しかし、音楽を体で感じ取って動くことができる児童が多くなった反面、自分勝手に動く児童も見受けられ、音楽の拍の流れやリズムへの意識が十分ではないことがうかがえる。

そこで本題材のお祭りの音楽づくりを通して、音楽を形づくっている要素(拍の流れ、リズム、フレーズ等)や音楽の仕組み(反復)に留意しながら、児童が音楽を感じて反応できるようにさせたい。また、音楽活動の中で、「教材」「友だち」「教師」とのかかわりを大切にしてオリジナルの音楽をつくっていく喜びを味わわせたいと考えている。

5 題材の目標

- (1) リズム譜に親しみ、拍子を感じ取りながら、自分たちでつくったリズムを歌ったり演奏したりする。
- (2) リズムカードを用い、リズムの組み合わせや音楽の仕組み(反復)を工夫してお祭りの音楽をつくる。

6 題材の評価規準

	観点1 音楽への関心・意欲・態度	観点2 音楽表現の創意工夫	観点3 音楽表現の技能	観点4 鑑賞の能力
題材の評価規準	反復を生かし、口唱歌によるリズムを組み合わせて音楽をつくる学習に進んで取り組もうとしている。	様々なリズムを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、リズムの組み合わせや反復を生かして、「おまつりの音楽」をつくる工夫をしている。	自分たちでつくった「おまつりの音楽」を、拍の流れにのって演奏している。	

7 指導と評価の計画（3時間扱い）

時	学習活動	題材の評価規準との関連	評価方法など
1	・いろいろなリズムパターンを組み合わせて「おまつりの音楽」をつくる	観点1	観察 学習シート
2 本 時	・リズムの組み合わせや反復を生かして「おまつりの音楽」を工夫する。 ・二人一組になりお互いのリズムを紹介したり、リレーしたりして楽しむ。	観点2	観察 演奏 学習シート
3	・拍の流れを感じ取りながら、自分たちがつくった「おまつりの音楽」を発表し合う。	観点3	演奏 学習シート

8 本時の指導（2／3）

（1）目標

様々なリズムパターンに親しみ、リズムの組み合わせや反復を生かして音楽をつくっている。

（2）個人課題や共通課題との関わり

本時では、自分なりの思いや意図をもって音楽表現の工夫をするために、「主体的に音楽を聴き取る（知覚）」場面では、いろいろなリズムパターンに親しみ、友だちと組み合わせることによって、リズムパターンの多様性に気付かせる。また、「そのよさや特質を感じ取る（感受）」場面では、リズムの組み合わせや反復を用いることにより、音楽づくりの面白さを味わわせる。そのために本時では下記の事項に留意したい。

- ① 音楽づくりへの意欲をもたせる手立て
 - ・メトロノームの拍の流れを感じ取り、様々なパターンのリズム打ち（口唱歌）ができるようにする。
 - ・友だちのリズムをつなぐことで、よりリズムの面白さを感じることができるようになる。
- ② 音楽づくりの学び合いへの手立て
 - ・「音楽を形づくっている要素」（リズム・反復）をもとに、友だちの演奏のよさを見つける。
 - ・「教材・友だち・教師」とのコミュニケーションを通して、音楽づくりができるようになる。

(3) 展開

段階	学習活動	指導の手立て
導入 15分	1 学習の雰囲気づくりをする ・ウオーミングアップ ・前時の学習内容の確認 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">リズムを組み合わせ、「おまつりの音楽」をつくろう</div>	○拍の流れやテンポに気をつけさせる ○いろいろなリズムパターンを歌ったり、打ったりさせる。 ＊リズムカード
展開 25分	3 拍の流れにのって、リズム奏を考える ・自分たちで考えたリズムパターンを確かめる。 ・「おまつりの音楽」づくりのルールを確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ルール ・お祭りらしく盛り上がるようにする。 ・一緒に演奏しても、交代で演奏してもよい。 ・終わる感じを表すように組み合わせを考える。 ・友だちと組み合わせたときに、ルールに合うように、リズムを少し変えてもよい。 </div> ・二人一組になり、互いのリズムを紹介したり、二人でリズムリレーをしたりしながら「おまつりの音楽」をつくる。 4 「おまつりの音楽」を聴き合って、友だちが作ったリズムのよさをみつける ・「おまつりの音楽」づくりのルールに合っている音楽になっているか、聴き合う。	○拍の流れに気をつけさせながら、リズム打ちをさせるようにする。 ○「おまつりの音楽」づくりのルールを意識させることにより「音楽の仕組み」を意識しながら音楽づくりをさせるようにする。 ・お祭りらしく盛り上がるようにしたい。 ・友だちと交代でリレーしてみたい。 ・自分のつくったリズムを変えてみたい。 等 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ☆視点1 (音楽づくりへの意欲をもたせる手立て) 拍の流れにのって様々なリズム打ちをさせることにより、友だちとの音楽づくりをスムーズにさせ、意欲をもたせるようにする。 </div> ■ 拍の流れにのりながら、自分たちでリズムリレーを行っている (演奏の聴取) ★ (リズム・フレーズ・反復) をもとに友達の演奏のよさを見つけさせるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ☆視点2 (音楽づくりの学び合いへの手立て) 拍の流れにのって演奏するよさや、友だちの演奏を聴いて音楽づくりの楽しさや面白さをみつけられるようにさせる。 </div> ■ 反復やリレーなど音楽を形づくっている要素に留意しながら聴いている。 (演奏聴取・発言) ★ 聴き合うことによって、新しい音楽づくりができたことへの充実感をもたせたい。
終末 5分	5 本時の学習のまとめをする。 ・自分たちや友だちの演奏のよさなど感想を發表し、次時のグループでの發表意欲につなげる。	○振り返りカードに感想を記入しながら、次時の發表会への意欲につなげるようにする。 ★感想の中で音楽を形づくっている要素 (反復・リズム) を意識させたい。 ＊振り返りカード

★個人課題

☆共通課題

■評価 (評価方法)

○指導の手立て (留意点)

・予想される児童の反応